

報道関係者各位

平成 20 年 12 月 3 日

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」
社会福祉法人 中央共同募金会
マニユライフ生命保険株式会社

「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善募金」贈呈先決定

全国の小児医療現場の専門施設・団体による応募から

「子どもの療養環境向上のためのアイデア」6 件を選考

～「第 13 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」同日に発表・贈呈式を実施～

子どもの医療や健康の支援・療養環境改善のために全国的にみても先駆的な活動を進めている特定非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(愛知県西加茂郡 理事長 田邊 穰)では、「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善募金」の一環として、全国の子どもが入院または通院する施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つユニークで有益な特別企画のアイデア募集を実施しました。慎重な審査選考の結果、うち 6 件のアイデアを支援対象として決定、11 月 30 日(日)に開催されたイベント「第 13 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」のプログラムの一つとして、寄贈先発表と併せて贈呈式を行いました。

「マニユライフ生命 子どもの療養環境改善募金」は、NPO「子ども健康フォーラム」の活動趣旨に共鳴したカナダ系生命保険会社のマニユライフ生命保険株式会社(本社:東京都調布市、社長兼CEO クレイグ・ブロムリー)と全国の同社職員の社内募金協力により寄贈された寄付金を社会福祉法人中央共同募金会を通じて寄贈。NPO「子ども健康フォーラム」が、子どもの療養環境改善を促進するため、全国の子どもが入院または通院する医療施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つより新しく有益な特別企画のアイデアを公募し、優秀なアイデアに対してこの寄付金による助成をするものです。

4 度目の実施となる今回は、合計 1,907,611 円が「子ども健康フォーラム」に寄贈され、それをもとにアイデア公募を行いました。「子ども健康フォーラム」による厳正な審査の結果選ばれた 6 施設・団体代表の顔ぶれ、各企画内容は別紙の通りです。11 月 30 日(日)に、あいち小児保健医療センターで開催されたイベント「第 13 回 21 世紀愛知の子ども健康フォーラム」内で贈呈式を行い、各施設・団体の代表に寄付金が寄贈されました。

尚、当日は、小児医療先進国並みの「プレイルーム」の普及・啓発を目指す特別大型プロジェクト「『マニユライフ わくわくるーむ』プロジェクト」の支援先も発表され、大阪市立総合医療センターと中部ろうさい病院の 2 施設に設置が決定いたしました。



寄付金の贈呈が決定した6施設の皆さんと、NPO 子ども健康フォーラム田邊理事長(写真3列目右)、奥田理事(2列目左)、中央共同募金会 熊谷氏(3列目左)、マニユライフ生命中部リージョナルオフィス 宇都宮リージョナルセールスディレクター (3列目中央)

<2008年度 マニユライフ生命 子どもの療養環境改善募金 贈呈先>

- ① NPO法人メンタルケアなないろの森 『わくわく、くすくす、ニコニコの森』
- ② 愛知学院歯学部附属病院 『手術室にはかわいい友達がいるよ。あそこにいるのは誰かな？
手術室の天井には誰がいるかな？』
- ③ 岐阜県総合医療センター 母とこども医療センター (NICU) 『パパ、ママ、あったかいね。』
- ④ あいち小児保健医療総合センター
『本の世界へレッツゴー！満喫・満足！あれ？もう診察時間！？』
- ⑤ 国立病院機構松江病院重度身体障害児(者)病棟 『遊湯タイムで、ほっとリラックス』
- ⑥ JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院
『今日は私がお母さん！』『ポッケから何が出てくるかなー！』

(ご参考資料)

NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児専門病院の「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。

「第13回 21世紀愛知の子ども健康フォーラム」について

特定非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(愛知県西加茂郡、理事長 田邊 穰)は、11月30日(日)に、安心して子育てのできる環境づくりをテーマとするイベント「第13回 21世紀愛知の子ども健康フォーラム」を開催いたしました。愛知県内唯一の小児医療専門施設として先進的な医療を受け持つ、あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市)を知っていただくと同時に、「子どもの育ち」を疎外する要因が何かを見極め、家庭、地域の子育て機能の低下している環境下に育つ現代の子どもが、健全なこころと体に育つよう、子育てのネットワークを広げ、安心して子育てが出来る環境づくりを提案いたしました。詳細は(http://www.npo-cln.org/frame_forum.html)をご覧ください。

前回の贈呈先施設・団体と対象の活動アイデア

(「マニユライフ子どもの療養環境改善募金」寄付金贈呈先、2008年中に実施)

- ①愛知県青い鳥医療福祉センターなのはな棟 『いたいの いたいの とんでいけー!』
- ②あいち小児保健医療総合センター 『わくわく読書で、ドキドキ気分を吹き飛ばせ!』
- ③大阪市立総合医療センター 『まいど〜!ワゴンdeプレイルームがやってくる♪』
- ④大阪大学医学部付属病院小児科・小児外科 『人形劇・ごっこ遊びでリハーサル!
〜“いやなこと、こわいこと”が、“ちょっと安心、きつとだいじょうぶ”に〜』
- ⑤育ちあう人間関係研究所 『からだをゆるめて ほっとコミュニケーション』
- ⑥東京北社会保険病院小児病棟 『わくわく にこにこ ハイポーズ!
〜行事の記念撮影と入院前のオリエンテーション資料の作成』
- ⑦豊橋市民病院小児科病棟
『赤ちゃん、寝たきりの子ども達をプレイルームへ連れ出そう!!』
- ⑧独立行政法人国立病院機構長良医療センター小児病棟
『わ〜い、先生大好き!先生がサンタさんだ〜』
- ⑨宮崎大学医学部附属病院 『ようこそ私たちの美術館へ 見て!見て!わたしの作品』
- ⑩NPO 法人メンタルケアなないろの森 『なないろの魚の水族館』

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、スタンダード&プアーズ社から、最高位の保険財務力格付けである「AAA」を取得しています（2008年12月2日現在）。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよびアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2008年9月30日現在3,850億カナダドル(3,640億米ドル)となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、格付け評価を得ている生命保険子会社が、スタンダード&プアーズ社の最高格付けである「AAA」を取得し、上場している保険会社の、世界で2社のうちの1社です。（2008年12月2日現在）

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）